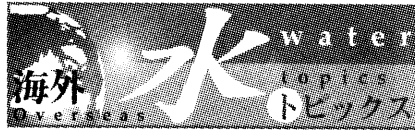


2007年(平成19年)5月10日(木曜日)



車両にひかれる動物の数が急増
100年来の干ばつに直面
しているオーストラリア

100年来の干ばつに直面しているオーストラリア。水不足と闘う人々の様子は多くのマスコミで取り上げられているが、動物も大きな被害を受けている。

オーストラリアの保険会社AMMIは、車両と家畜との衝突を原因とする保険金請求が、前年度比で25%増加していると発表した。この背景は長期化している干ばつで、酪農地の草や小動物が少なくなり、水や食料を求める多くの動物が道路付近に出没、その結果自動車と衝突するのではないかと推測されている。また内陸部では蛇も大量発生している。これも干ばつの影響で

農地は不毛の地となり、エサ探しのために夜行性の蛇までが地上に出てきたらしい。多くの蛇は自ら水を飲むことはなく、小動物(エサ)の水分摂取で体内の水分レベルを保っているからだ。

さらに5年間も続く干ばつの影響で、牧草が枯れた結果、記録的な数の放牧牛や羊が食肉処理場へ送り込まれている。2006年では、過去最高の72万頭の牛、羊は130万頭処理されたと報じられている。

長期化する干ばつ、もちろん、ひと様への影響も甚大である。シドニーでは昨年10月水道料金が9%値上げになり、さらに今後2年間で20%の値上げが予定されている。大家族では、通常の水道料金に加え、さらに100ドル増しになると懸念している。

路上でカンガルーと衝突すると保険金が出るが、水道料金はすべて自己負担である。

(Y)